

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第2回 総務部会
開催日時	平成 28年 3月 23日 18時 30分 ~ 19時 50分
開催会場	名寄市立大学 恵陵館3階 239教室
出席委員	長内部会長、高木委員、寺尾委員、梅野委員、山上委員、伊東委員、深井委員、姉崎委員、松前委員、三澤委員、扇谷委員、東野委員、熊谷委員、宮澤委員、早川委員
事務局出席者	白田総務部長、金須企画課長、渡辺企画課主幹、菊池企画課主査、山本企画課主事
審議事項	第2次総合計画における基本構想について
発言内容	<p>■部会長 5つの基本理念を3つに再編し示されましたが、その理由について  「①1次計画を検証して、5つの理念は一定程度クリアできたと判断したから」  「②基本理念はクリアできていないが、集約して5つから3つに変更したから」  「③自治基本条例や市民意見を考慮して再編したから」  どのような経緯・理由なのか。</p> <p>○事務局 1次計画の基本理念を一新したものではなく、キーワードや考え方は1次計画を踏襲しているものと考えている。自治基本条例の考えに基づき、市民との連携・協働についても記載させていただいており、まちづくりに必要な3つの視点に再構築した。</p> <p>■委員 元気づくりの後段、「市民一人ひとりが」を 「赤ちゃん（若者）から高齢者まで」などイメージが湧く具体的なものに変更した方が良い。</p> <p>■委員 協働を意識されるのであれば、3つのまとめが一般の市民にも馴染みやすいと思う。</p>

■委員	人づくりの中段、「子どもたちが健やかに成長し、また、生涯を通して学び、」は子どもたちのみを対象にしているように見える。市民全員の人づくりにつなげる必要があるのではないか。
○事務局	人づくりの中段、「また、生涯を通して」以降は生涯教育として、市民全員を対象と考えているが、子どもを対象とした記述に見えるかもしれない。記述を改めたい。
■委員	基本理念を3つに集約することは問題ないのではないか。全体を見て、必要があれば修正してもらえればと思う。
■委員	すべてを盛り込むことは実質難しい。しかし、基本理念、将来像があり、それに向かうための基本計画がある。主たる部分が示されればよい。
■委員	暮らしづくりの中で、「協働」が明記されている。もっと強調しても良いかとも考えるが、これで良いと思う。
■部会長	基本理念の3つの柱は、「人づくり」「暮らしづくり」「元気づくり」とする。次に、将来像に移りたい。前回事務局にたたき台を求め、示してもらった。説明を求めます。
○事務局	3つのたたき台について説明
■部会長	将来像は市民とともに目指す10年後の姿。キーワードで議論するのはなかなか難しい。解説をもとに議論したい。
■委員	将来を現実的に考えた際に見合う③がよいと思う。将来像はやはり厳しい現実を踏まえて、みんなが一つになって現実を知り、まちづくりを進めていく必要がある。

- 委員 将来を考えた時に、人口減少などにより、明るい未来を描けない。これから10年間は厳しい状況が続くと思うので③に近いと思う。
- 委員 全国的に人口減少・少子高齢化、財政難となるが、市民一人ひとりが主役であることを認識していただきたい。
- 委員 ③も現実的でよいと感じたが、③より柔らかい言い方、やさしさがある「絆」「自然や先人によって・・・」など、②のキーワードを③とミックスしていただきたい。
- 委員 ②を中心にして醸成したら良い。将来像を描くときに、ネガティブな部分をポジティブに変えて表現することが必要である。そのことが、人を引き付け、共感を生むと考える。
- 委員 ③の3行目は力強くよいと思う。3行目を活かしながら、柔らかさを出すように織り交ぜていただければと思う。
- 委員 3案に共通する「市民が一体」「協働」などは確実に使い、基本理念も含めて柔らかみを出して文言整理いただければ美しい。
- 委員 近隣、交流自治体との連携については明記すべき。10年後、医療含めてさらに名寄市の役割は増していると思う。
- 委員 近隣自治体と定住自立圏協定を締結し、多くの部分で連携している。
- 委員 昨年、持続可能なまちづくりを進めるために、人口ビジョン、総合戦略を策定しているので、文言を連動して、決意を含めまとめて頂きたい。先人の活躍や築かれた財産を礎に今を生活しているので、当然明記しながら、将来へ向けての決意、基本理念に示したキーワードなどをまとめて検討して欲しい。

■部会長 頂いたご意見をもとに、次回解説の中に追加いただき事務局案を示していただきたい。絞り込みは②と③のをミックスするとともに、総合戦略のエッセンスも追加して検討いただきたい。

■委員 将来像の解説の中に記載がある、歴史・文化について名寄市としてどのようなイメージであるのか？歴史文化は人により異なると思う。

○事務局 歴史はこれまでの、名寄市の取り組み、歩みであり、文化は様々なものがあり、個々によって異なるものではないか。  
これまでの生活の蓄積であり、合併以降10年の積み上げではないだろうか。旧名寄・旧風連時代からの市民一人ひとりの歴史ではないか。

■委員 1次計画では農業を中心とした、歴史としているが、文化は様々で、太鼓や獅子舞なども文化にあたる。名寄市は本州のような江戸時代からの文化などはないため、それぞれに歴史・文化があると思う。

○事務局 自然は緑豊かで雪など様々あり、歴史については、産業でいえば農業の歴史であり、まちなみも、商店街の歴史でもあり、先人から蓄積されてきたものではないだろうか。また、文化は日々の生活の中で培われてきた様々な文化があると思っている。名寄の冬を楽しく暮らす条例もあり北国文化などもあり、特徴的な取組がなされてきているし、市民それぞれの歴史があり名寄市の魅力に繋がっている。

■委員 名寄市は100年程度の歴史で街並みをつくってきている。自然があり、文化があり、歴史があり、今の街並みがある。個別の説明は難しい。しかし、特徴的なものとして挙げるのであれば、市立大学や交通の結節点として住みやすく交通の利便性が良く、市立病院などがあり地域の中心としての今がある。相乗的な作用が今のまちをつくっている。自然、歴史、文化など断片的な説明では説明が難しくなる。

■委員 文書、文言並べるだけでなく、背景や思いを入れ込んで検討願う。

○事務局 本日いただいたご意見を基に、次回再度将来像を示していきたい。

決定事項等	基本理念を「人づくり」、「暮らしづくり」、「元気づくり」の3つの柱とする。内容、文言整理をして、次回示していく。また、将来像も解説、キーワードともに再度検討して、次回示していく。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------